

## 2017年 世界禁煙デーについて

喫煙が健康に与える影響は大きく、口腔に与える影響も問題となっています。歯の着色や口臭の原因だけでなく、歯周病のリスクを高めたり、気づかない間に悪化させたりする原因となっています。また、社会や環境、経済に及ぼす破壊的な影響は計り知れません。

### 平成29年度「禁煙週間」のテーマ

「2020年、受動喫煙のない社会を目指して～たばこの煙から子ども達をまもろう～」

5月31日は



世界禁煙デー

5月31日(水)～6月6日(火)は「禁煙週間」

喫煙が健康に与える影響は大きい上、受動喫煙の危険性やニコチンの依存性を踏まえると、喫煙習慣は個人の嗜好にとどまらない健康問題であり、生活習慣病を予防する上で、たばこ対策は重要な課題になっている。

世界保健機関(WHO)は、昭和45年にたばこ対策に関する初めての世界保健総会決議を行い、平成元年には5月31日を「世界禁煙デー」と定め、喫煙しないことが一般的な社会習慣となることを目指した「たばこか健康かに関する活動計画」を開始した。厚生労働省においても、平成4年から世界禁煙デーに始まる一週間を「禁煙週間」として定め、各種の施策を講じてきたところである。厚生労働省において実施している「健康日本21(第二次)」やがん対策推進基本計画の目標でもある「未成年者の喫煙をなくす」ためには、喫煙による健康影響を認識させることが重要であり、また、「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」に基づく第2回締約国会議において、「たばこの煙にさらされることからの保護に関するガイドライン」が採択され、我が国においても、平成22年2月に、基本的な方向性として、公共の場は原則として全面禁煙であるべき等を記した通知を発出し、平成24年度においては、受動喫煙防止対策の徹底について通知を発出した。また、「2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針」において、受動喫煙防止対策の強化が明記され、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係府省庁連絡会議の下に、受動喫煙防止対策強化検討チームを立ち上げ、検討を進めている。

(厚生労働省「禁煙週間」実施要綱より)

「わかっているけれど、止められない…」

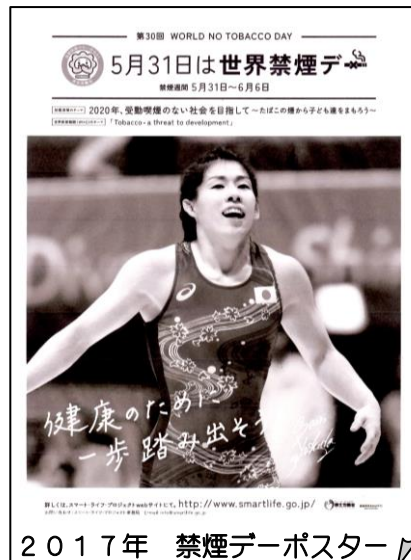
あなたと、あなたを必要とする人のために、禁煙チャレンジしてみませんか。

### ★禁煙方法ランキング★

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1位. 電子たばこ(成功率 92.2%)   | 4位. 禁煙パイプ(成功率 60.3%)    |
| 2位. 禁煙外来(成功率 89.3%)    | 5位. ニコチンガム(成功率 58.9%)   |
| 3位. ニコチンパッチ(成功率 75.0%) | 6位. 禁煙サプリメント(成功率 44.6%) |

禁煙成功率を上げる方法として「周囲に禁煙宣言する(5%Up)」「禁煙リスクと向き合う(5%Up)」「運動を始める(3%Up)」があります。ぜひ、今からチャレンジ!

※お口と体の雑学クイズと解答は4面です!



2017年 禁煙デーポスター